

中国四国地域における水田を活用した 耕畜連携対策事例集



平成18年 11月

中国四国地域耕畜連携推進協議会 中国四国農政局畜産課

はじめに

水田での飼料作物の増産は、飼料自給率向上のために重要な位置(中国四国管内の飼料作付面積の約40%が水田転作)を占めており、米政策改革の「産地づくり交付金」の中でも地域の特色に応じて様々な助成が行われています。

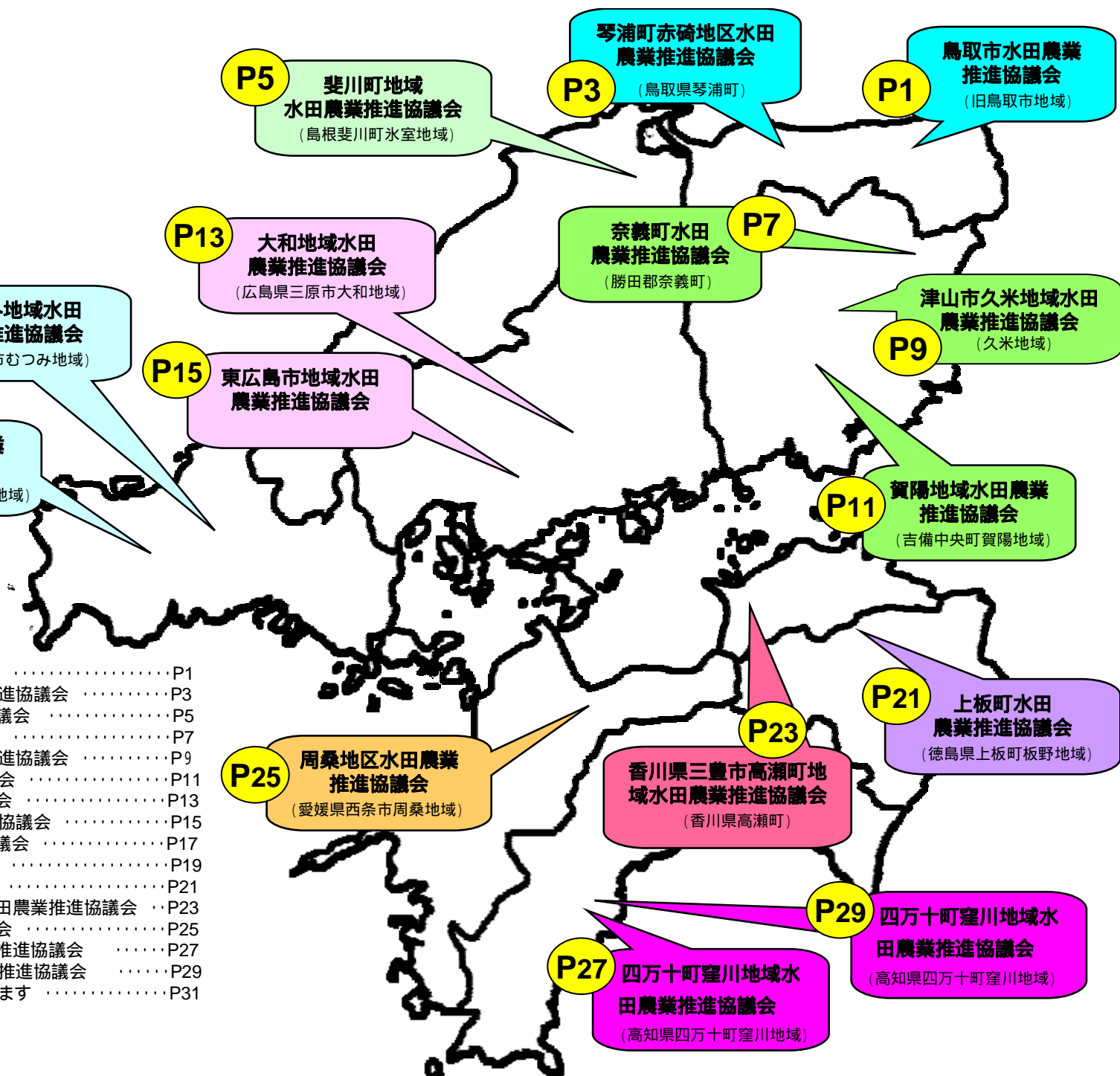
当事例集は、18年度に中国四国地域において交付金等を活用した耕畜連携の事例について現地調査を行い、その概要を取りまとめたものです。

19年度以降も米政策において水田を活用した飼料作物生産についての助成は継続されることから、畜産農家はもとより耕種農家の方にも参考としていただき、地域の水田農業推進協議会で充分ご議論の後、飼料作物生産に取り組まれる契機となれば幸いです。

最後に、当事例集の作成に当たり、ご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。



目次



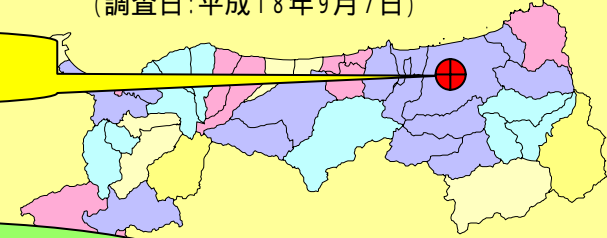
| | | |
|-------------------------|-------|-----|
| 鳥取:鳥取市水田農業推進協議会 | | P1 |
| 琴浦町赤碕地区水田農業推進協議会 | | P3 |
| 島根:斐川町地域水田農業推進協議会 | | P5 |
| 岡山:奈義町水田農業推進協議会 | | P7 |
| 津山市久米地域水田農業推進協議会 | | P9 |
| 賀陽地域水田農業推進協議会 | | P11 |
| 広島:大和地域水田農業推進協議会 | | P13 |
| 東広島市地域水田農業推進協議会 | | P15 |
| 山口:むつみ地域水田農業推進協議会 | | P17 |
| 秋芳町水田農業推進協議会 | | P19 |
| 徳島:上板町水田農業推進協議会 | | P21 |
| 香川:香川県三豊市高瀬町地域水田農業推進協議会 | | P23 |
| 愛媛:周桑地区水田農業推進協議会 | | P25 |
| 高知:四万十町窪川地域水田農業推進協議会 | | P27 |
| 四万十町窪川地域水田農業推進協議会 | | P29 |
| 現行の耕畜連携推進対策が変わります | | P31 |

鳥取市水田農業推進協議会 (旧鳥取市地域)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成
(調査日:平成18年9月7日)

畜産農家、耕種農家、コントラクターが連携した飼料イネの生産



鳥取市水田農業推進協議会(旧鳥取市)

産地づくり対策交付金

| | |
|-----------------|---------------|
| 基本助成 | 4,000円 / 10a |
| 重点作物奨励金 | 10,000円 / 10a |
| 担い手育成支援 (3ha以上) | 25,000円 / 10a |
| 〃 (25a以上) | 10,000円 / 10a |

耕畜連携推進対策 13,000円 / 10a

| | | |
|----|---------|---------------|
| 合計 | (3ha以上) | 67,000円 / 10a |
| 〃 | (25a以上) | 52,000円 / 10a |

+ WCS出荷奨励金

(1,500円 / ロール) 15,000円(上限)

【特徴】

耕種農家(栽培・管理)、コントラ(収穫・調製、たい肥散布)、畜産農家(給与)の機能分担が行われている。

WCSの生産振興、耕種農家間及び畜産農家との調整を円滑に行うため、耕種農家、地権者を構成とした「飼料稲生産集団」が、旧市町村単位に設立されている。

全国連

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)
10,000円 / 10a

(耕畜連携推進対策(資源循環))

コントラクター



収穫作業委託
26,000円/10a

WCS栽培・管理

飼料稲生産集団
(耕種農家・地権者)

(産地づくり対策 + 耕畜連携推進対策)
(WCS作付け)

収穫・調製、堆肥散布

たい肥散布
(散布料無料)



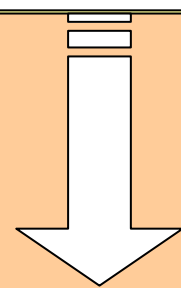
たい肥
無料

WCS (3千円 / ロール(280kg))(10aあたり約26,000円)

(産地づくり対策 + 耕畜連携推進対策(WCS作付け)
自己経営地の場合

WCS給与

東部畜産振興会
(畜産農家)



「鳥取県鳥取市水田農業推進協議会」の概要

ポイント

耕種農家(栽培・管理)、コントラ(収穫・調製、たい肥散布)、畜産農家(給与)の機能分担を実施。

WCSの生産振興、耕種農家間及び畜産農家との調整を円滑に行うため、耕種農家、地権者を構成員とした「飼料稲生産集団」が、旧市町単位に設立。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団(コントラクター)の有無等 |
|-----|--------|----------|-----------------|-------------|----------------|-------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 鳥取市 | 5,843戸 | 乳用牛 | 25戸 (1,200頭) | 都市部 | | 東部コントラクター |
| | | 肉用牛 | 45戸 (2,810頭) | 平地部 中山間部 | | |

資料:2005農林業センサス「農業経営体調査」

「鳥取市水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金
[稲発酵粗飼料関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| 総計 | 67,000円/10a | 52,000円/10a |
|----|---|-------------------------|
| | 耕畜連携推進対策 : 13,000円/10a | |
| | 担い手育成支援 25,000円/10a | 作物付加価値加算 10,000円/10a |
| | 出荷奨励金(稲発酵粗飼料) : 15,000円 (1,500円/ロール) | |
| | 重点作物奨励金 : 10,000円/10a | |
| | 基本助成 : 4,000円/10a | |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

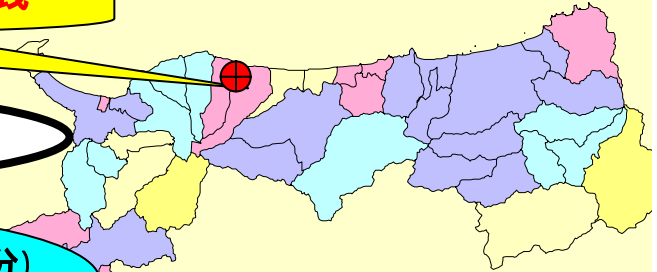
琴浦町赤碕地区水田農業推進協議会

(鳥取県 琴浦町)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成
(調査日:平成18年9月1日)

自給飼料増産型酪農経営に向け、トウモロコシ等の飼料作物の作付を実践



琴浦町赤碕地域水田農業推進協議会

基本助成(土地所有者に配分)
9,000円/10a

担い手加算(作業実施者に配分)
飼料作 30,000円/10a

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円/10a
耕畜連携要件達成者に加算

地主(耕種農家)
9,000円/10a

栽培・収穫作業
6,500円/10a

(受持ち地域の作業を実施)
生産集団「笹津坂の上」(ノツサカノウエ)
大山ビューコントラクターのメンバー

水田での
トウモロコシ・イタリアン
の栽培を委託

トウモロコシ・イタリアン

約43,000円/10a

飼料生産等の
作業を受託して
実施。



「飼料代金」
約15,000円/10a

バンカーサイロによるサイレージ化

飼料



「飼料代金」は、地主と小作農家の間で任意に決定。
実際は、「作業代金」を事前にさし引いて、地主に
支払われる。

鳥取県琴浦町赤碕地区水田農業推進協議会」の概要

ポイント

自給飼料増産型酪農経営に向け、トウモロコシ等の飼料作物の作付けを実践、食用稲の生産調整に繋げている。

地域のコントラクター組織が栽培・収穫作業を担当し、粗飼料生産の大規模化・効率化に貢献している。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|-----|--------|----------|-----------------|----------------|----------------|--------------------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 琴浦町 | 1,500戸 | 乳用牛 | 72戸 (3,030頭) | 都市部 平地部 | | 地域生産集団 が大山ビュー コントラクター のメンバー |
| | | 肉用牛 | 87戸 (7,980頭) | | | |

「琴浦町赤碕地区水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金[飼料作物関係]

琴浦町赤碕地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | |
|----|-----------------------------|
| 総計 | 耕種農家 9,000円 / 10a |
| | 基本助成 9,000円 / 10a |

| |
|---|
| 畜産農家 43,000円 / 10a |
| 耕畜連携推進対策 (水田飼料作物生産振興事業) 13,000円 / 10a |
| 担い手加算 30,000円 / 10a |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

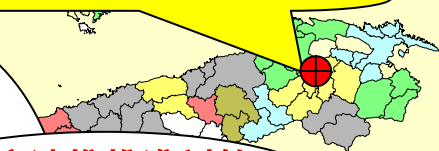
斐川町地域水田農業推進協議会

(島根県 斐川町 氷室地域)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成

耕畜連携して水田放牧を实践



斐川町地域水田農業推進協議会

| | | |
|--|-------------------------|--|
| 産地づくり交付金 | ロテーション 放牧後 ロテーション | 産地づくり交付金 水田放牧 畦畔復旧助成 (ブロックローテーション放牧後) 5,000円 / 10a |
| 基本助成 (斐川町とも補償事業) 5,000円 / 10a | | |
| 作物作付助成 5,000円 / 10a | | |
| 団地化加算 15,000円 / 10a | | |
| 耕畜連携加算 15,000円 / 10a | | |

行政機関(県・役場等)

耕種農家と畜産農家との
放牧委託・契約
飼料利用供給契約

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円 / 10a

放牧牛の
健康・衛生・繁殖
指導検査

畜産農家

放牧地利用組合
和牛農家



地主(耕種農家)

土地利用計画作成
団地取り纏め 牧草の栽培管理



毎年放牧地をブロック
ローテーションで回す

ソーラーバッテリー式
電気牧柵器
及び 給水施設

契約
検査・指導

電気牧柵設置・放牧牛・放牧地の管理

和牛
ヘルパー組合
牛の運搬・捕獲等

牛の捕獲・運搬

作業委託

斐川町では、水田放牧をブロックローテーションで実施している。放牧後、水田に戻すための畦畔復旧等は、「水田放牧畦畔復旧助成」を割り当てている。

「島根県斐川町地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

担い手農家、営農組織、生きがい農家等の区域を定めて農地を集積するゾーニングの手法や、放牧地の利用調整の円滑化を支援する放牧地利用組合の新設により飼料作物など土地利用型作物の団地化を加速化している。

概ね平坦な水田地帯にあって、麦・大豆・飼料作物の土地利用型作物の団地化を推進しており、団地化率は約65%に達している。

「水稲と放牧」等のブロックローテーションの土地利用計画は、集落営農組織や集団転作委員会等によりスムーズに実施できる上、耕種・畜産双方にメリットがあり、取組が徐々に拡大してきている。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|-----|-------------------------|----------|--------------------------------------|-----------------|----------------|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 斐川町 | 2,265戸 (2000年農業センサス) | 乳用牛 | 14戸 (470頭) | 都市部 | | |
| | | 肉用牛 | 29戸 (200頭) (いずれもH17.2.1畜産統計調査) | 平地部 中山間部 | | |

「斐川町地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金[飼料作物関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| 総計 | 耕種農家 (最大) 40,000円 / 10a | 畜産農家 13,000円 / 10a |
|----|--|--|
| | 耕畜連携加算 15,000円 / 10a | 耕畜連携推進対策 (水田飼料作物生産振興事業) 13,000円 / 10a |
| | 団地化加算 15,000円 / 10a | |
| | 作物作付け助成: 5,000円 / 10a (上限) | |
| | 基本助成 独自 (斐川町とも補償事業) 5,000円 / 10a | 水田放牧畦畔復旧助成 (ブロックローテーション放牧後) 5,000円 / 10a |

放牧後

ローテーション

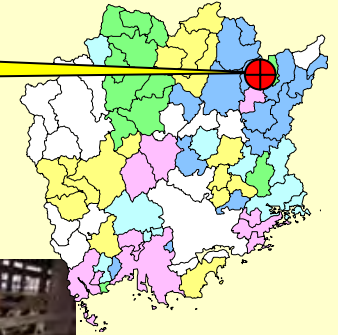
| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---|
| 地域による協力金(とも補償的)から | | 基本助成として「斐川町とも補償事業」を独自に展開。補償額は5,000円 / 10a |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

奈義町水田農業推進協議会

(岡山県勝田郡奈義町)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成
(調査日:平成18年8月11日)



耕種農家による大規模WCS作付、稲ワラとたい肥交換による耕畜連携

奈義町水田農業推進協議会



奈義有機センター

堆肥

堆肥散布料金
3,000円 / 2t(10a) (税込)

バラ (税込)
完熟7,350円 / 2t
半熟3,675円 / 2t

地域の耕種農家へ

産地づくり対策助成(基本)
10,000円 / 10a

利用集積加算
30,000円 / 10a

地区達成加算
3,000円 / 10a

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円 / 10a



ライスクロップ長尾

産地づくり・耕畜連携56,000円 / 10a
WCS販売収益 30,000円 / 10a
合計 86,000円 / 10a

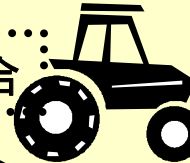
収穫
委託

収穫委託費
20,000円 / 10a

WCS

WCS
3,000円 / ロール × 10個 / 10a
1ロール200~250kg

津山地域飼料生産コントラクター組合



全農・全酪連

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)
10,000円 / 10a

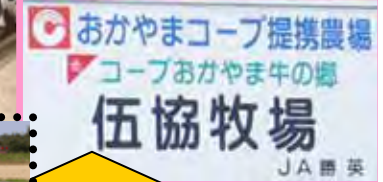
稲発酵粗飼料給与確立

ライスクロップ長尾ではカルパーコーティングした種子を湛水直播して実証展示している。



堆肥

稲わら
3,000円 / 10a (税込)
又は堆肥交換



「奈義町水田農業推進協議会」の概要

ポイント

耕種農家による大規模WCS作付及び稲わらとの堆肥交換による耕畜連携を実施。

地域の生産者集団(ライスクロープ長尾)がWCS作付、稲わら生産を担当。専用収穫機を必要とするWCS収穫を地域のコントラクター組織に委託して、成果品(WCS・稲わら)を地域の畜産農家に販売している。

奈義町飼料稲生産・利用組合をH18年に設立し、WCSの作付・栽培管理を耕種農家と酪農家が協力して実施。専用収穫機を必要とするWCS収穫を委託して、成果品であるWCSを同地域の酪農家が利用している。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|-----------|--------|----------|-----------------|------------------|---|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 奈義町 全域 | 1,003戸 | 乳用牛 | 27戸 (1,326頭) | 都市部 | 奈義町飼料稲生産・利用組合を平成18年9月に設立。 勝英農協・おからく・県・町で、奈義町飼料稲耕畜連携推進協議会を設立し、推進を行っている。 | コントラクターはおからくを利用 |
| | | 肉用牛 | 20戸 (2,921頭) | 平地部 ○中山間部 | | |

「奈義町水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金〔飼料作物関係〕

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | | |
|----|---------------------------------|--|
| 総計 | 56,000円 / 10a (最大) | |
| | 耕畜連携推進対策 13,000円 / 10a | |
| | 地区達成加算 3,000円 / 10a | |
| | 利用集積加算 30,000円 / 10a | |
| | 産地づくり対策助成 (基本) 10,000円 / 10a | |

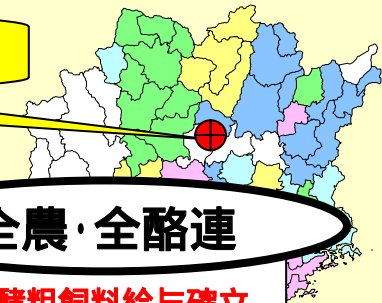
| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--|-------|---------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| (中山間地域総合整備事業(直接支払い)) 中山間地域等直接支払い交付金 | | 有機堆肥の撒布 |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

津山市久米地域水田農業推進協議会 (岡山県津山市久米地域)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成
(調査日:平成18年6月16日)

自給飼料増産型酪農経営に向け、耕畜連携してWCS作付を実践



津山市久米地域水田農業推進協議会

産地づくり対策助成

10,000円 / 10a

地区達成助成

3,000円 / 10a

集積計画作付助成(集積達成者のみ)
40,000円 / 10a

耕種農家へ

産地づくり対策助成

10,000円 / 10a

地区達成助成

3,000円 / 10a

酪農家へ

耕畜連携推進対策

水田飼料作物
生産振興事業

13,000円 / 10a

全農・全酪連

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)

10,000円 / 10a

合計 13,000円 / 10a

(集積達成者) 53,000円 / 10a

作付、栽培管理は
耕種農家が実施
約40,000円 / 10a



耕種農家

酪農家

合計 23,000円 / 10a



飼料

稲発酵粗飼料給与確立



WCS

専用収穫機械 +
オペレーター費用
20,000円 / 10a

津山地域
飼料生産
コントラクター組合

ロール運搬費
5,000円 / 10a

収穫費用 合計 25,000円 / 10a



おかやま
酪農業協同組合

収穫受託



例に挙げた酪農家では、近隣耕種農家と連携し約3.2ha(うち自家田70a)でWCSを作付けし、10aあたりロール約7個を収穫(1ロール200~250kg)。

WCSの作付等は耕種農家、収穫・運搬等は津山地域飼料生産コントラクター組合に依頼。例に挙げた酪農家からは、耕種農家にWCS代金を1ロールあたり3,000円支払っている。

「津山市久米地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

自給飼料増産型酪農経営に向け、耕畜連携してWCS作付を実施

WCSの作付・栽培管理を耕種農家と酪農家が協力して実施。専用収穫機を必要とするWCS収穫を委託して、成果品であるWCSを同地域の酪農家が利用している。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|---------------|--------|----------|--------------|-----------------------------|---|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 津山市 (久米地域) | 1,373戸 | 乳用牛 | 9戸 (300頭) | 都市部 平地部 ○中山間部 | 津山市久米地域水田農業推進協議会は、産地づくり交付金の飼料作物増産に向けた活用方法の提案・決定、地域での実施体制づくり等に主体的な役割を果たしている。 | 酪農家で組織する「津山地域コントラクター組合」 |
| | | 肉用牛 | 8戸 (32頭) | | | |

「津山市久米地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金〔飼料作物関係〕

地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | | |
|----|--|--|
| 総計 | 耕種農家 13,000円/10a~ 53,000円/10a(最大) | |
| | 集積計画作付助成 (集積達成者のみ) 40,000円/10a | |
| | 地区達成助成 3,000円/10a | |
| | 産地づくり対策助成 10,000円/10a | |

| |
|---|
| 畜産農家 13,000円/10a |
| 耕畜連携推進対策 (水田飼料作物生産振興事業) 13,000円/10a |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

賀陽地域水田農業推進協議会

(岡山県吉備中央町賀陽地域)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成

(調査日:平成18年9月4日)



自給飼料増産型畜産経営に向け、耕畜連携し飼料作物作付を団地化

賀陽地域水田農業推進協議会

各農家へ

産地づくり対策基本助成

10,000円 / 10a

地区達成加算

3,000円 / 10a

土地利用集積加算

30,000円 / 10a

生産組合へ

耕畜連携推進対策

(水田飼料作物生産振興事業)

13,000円 / 10a

活用!

中山間地域等直接支払制度
(店協定、野呂協定、池の砂・美和協定)

体制整備単価(A要件の取組)
共同化:耕起、収穫、多面的、病虫害防除

店・野呂・池の砂生産組合(35戸)

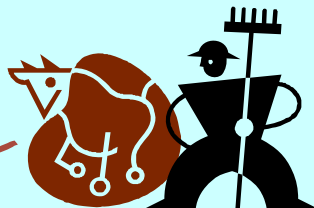
合計 13,000円 / 10a

合計 43,000円 / 10a(最高)



耕種農家

耕畜連携



畜産農家

(互助制度による基金を均等配分)

転作実績に対して配分



畜産農家



「賀陽地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

自給飼料増産型酪農経営に向け、耕畜連携して粗飼料生産を実施

耕畜連携推進対策の助成金を、地域の生産組織が受け皿となって交付を受け、生産組織内部で転作実績に応じた再配分を行い、産地づくり対策と中山間地域等直接支払制度も活用しながら粗飼料生産を実践。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|---------------|--------|----------|-----------------|----------------------------|---|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 吉備中央町 賀陽地域 | 1,723戸 | 乳用牛 | 35戸 (1,330頭) | 都市部 平地部 中山間部 | 賀陽地域水田農業推進協議会、JA及び町は、飼料作物の作付指導や産地づくり交付金の活用方法の提案、地域での実施体制づくり等に主体的な役割を果たしている。 | |
| | | 肉用牛 | 51戸 (1,760頭) | | | |

頭数等は吉備中央町全体

「賀陽地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金
[飼料作物関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | | |
|----|---|---------------|
| 総計 | 56,000円 / 10a (最大) | |
| | 耕畜連携推進対策: 13,000円 / 10a | |
| | 地区達成加算 | 3,000円 / 10a |
| | 土地利用集積加算: (飼料作物) | 30,000円 / 10a |
| | 水稻を作付けしない助成水田に飼料作物の作付: 10,000円 / 10a | |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---|
| 地域による協力金(とも補償的)から | | 10aあたり水田面積×転作率×4千円を農家が拠出して国からの転作助成金と併せて、実際に転作された水田に均等配分 |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | | 体制整備単価(A要件の取り組み) 機械、耕起・収穫作業の共同化、病害虫防除等 |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

大和地域水田農業推進協議会

(広島県三原市大和地域)

畜産農家、耕種農家、コントラクターが連携した飼料イネの生産

大和地域水田農業推進協議会

産地づくり対策交付金

| | |
|-----------------|----------------------|
| 産地づくり推進助成(飼料作物) | 40,000円 / 10a |
| 団地化助成 | 10,000円 / 10a |
| 担い手加算助成 | 15,000円 / 10a |
| 合計 | 65,000円 / 10a |
| 耕畜連携推進対策 | 13,000円 / 10a |



飼料イネの省力・低コスト生産のための、「乾田散播」、「湛水直播」試験を実施

全国連

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)
10,000円 / 10a



WCS栽培・管理

大規模稲作生産者・
萩中3工区営農組合
(11.5ha)

収穫作業委託
23,500円/10a

収穫・調製

大和町飼料イネ生産組合



WCS (3,500円 / ロール(270kg)
(平均収量 7.5ロール / 10a)
3,500円 × 7.5 = 26,250円 / 10a



WCS給与

畜産農家
(酪農2戸、肥育1戸)



「広島県大和地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

ほ場整備された水田(50a前後/区画)での直播栽培により、作業効率が向上したほ場もある。

安価で生産できる自家製乳酸菌の添加により長期保存後の嗜好性も良好。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|------------|--------|----------|----------------|------------------|----------------------|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 三原市 大和町 | 1,131戸 | 乳用牛 | 5戸 (109頭) | 都市部 | 堆肥センターの設置 堆肥の利用促進 | 有 |
| | | 肉用牛 | 17戸 (1082頭) | 平地面部 中山間部 | | |

資料:2005農林業センサス「農業経営体調査」

「大和地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金[稲発酵粗飼料関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | | |
|----|------------------------|-------------|
| 総計 | 78,000円/10a (最大) | |
| | 耕畜連携推進対策 : 13,000円/10a | |
| | 担い手加算助成 : | 15,000円/10a |
| | 団地化助成 : | 10,000円/10a |
| | 基本助成 : | 40,000円/10a |

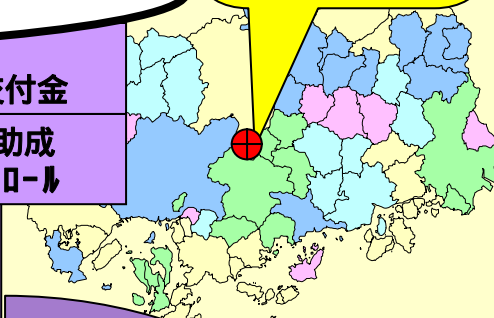
| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | | 26集落 |
| 地域肉用牛振興対策事業 | | 肉用牛等振興事業:45,000円、緊急特定疾病予防接種推進事業:予防注射代の2分の1、受精卵移植事業:20,000円/頭、優秀雌牛育成事業:50,000円/頭、現地採卵事業:15,000円/回、優秀精液導入事業:60,000円 |

東広島市地域水田農業推進協議会

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部
畜産課作成
調査日平成18年9月22日

耕畜連携して
WCS栽培を
実践



東広島市地域水田農業推進協議会

東広島市

堆肥助成
1,000円/t (最大)

産地づくり交付金

| | |
|--------------|--------------------|
| 飼料出荷供給契約 | 15,000円/10a |
| 担い手加算 | 40,000円/10a |
| 土地利用集積(新規水田) | 10,000円/10a |
| 最大 | 65,000円/10a |

産地づくり交付金

WCS購入助成
2,000円/0-1

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円/10a

アイ・おだけ
農事組合法人

WCS作付



収穫
作業
委託

ファームウチ

耕種農家集団
WCS作付・収穫作業受託

WCS
(4,500円/0-1)

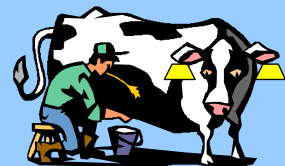
堆肥
(1,000円/t)



志和地区酪農家

堆肥 (2,000円/t)

WCS (4,500円/0-1)



豊栄地区酪農家

全農・JA広島中央

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)
10,000円/10a

稲発酵粗飼料給与確立10,000円/10a

「広島県東広島市地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

耕畜連携してWCS栽培・堆肥循環を実践。

地域酪農家のWCS購入費用に対して地域水田協議会から定額助成を行っている。

水田放牧を行った集団に対し、「水田放牧助成」が交付されている。

土づくりを推進するため、堆肥購入を行った生産組織には、東広島市から「堆肥助成」が交付されている。

法人間で連携してWCS生産を行っている。(収穫作業の受委託)

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|------|--------|----------|-----------------|----------------|--|--|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 東広島市 | 9,998戸 | 乳用牛 | 22戸 (1,013頭) | 都市部 平地部 | 地域のJA,市,県で構成される東広島市技術者部会が中心となって,飼料イネの実証展示と啓発活動を実施。地域での生産・利用が始まるきっかけとなった。 | 生産者集団 ファームウチ が飼料作物 の収穫作業 を受託 |
| | | 肉用牛 | 27戸 (952頭) | | | |

「東広島市地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金・その他[飼料作物関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | | | |
|----|--|--------------------------------|----------------------------|
| 総計 | 担い手農家(最大) 65,000円/10a | 畜産農家 2,000円/頭 | |
| | 耕畜連携推進対策 13,000円/10a | | WCS購入助成 2,000円/頭 |
| | 土地利用集積 (新規水田) 10,000円/10a | | |
| | 飼料出荷供給契約 15,000円/10a | | |
| | 担い手加算 40,000円/10a | | |
| | | | |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---|
| 地域による協力金(とも補償的)から | | 堆肥投入に対し,助成(1,000円/t(最大))が行われている。(東広島市「有機良質米生産促進事業」) |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | | 優秀雌牛の現地採卵及び移植:広島中央農協和牛生産部会,牛舎整備:広島中央広島牛育成共同組合。 |

放牧加算(1ha以上)
10,000円/10a

水田放牧助成
30,000円/10a

放牧に関してはフ
ロー図に記載なし

むつみ地域水田農業推進協議会

(山口県 萩市 むつみ地域)

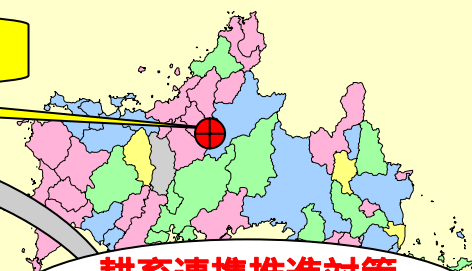
耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成

(調査日:平成18年9月22日)

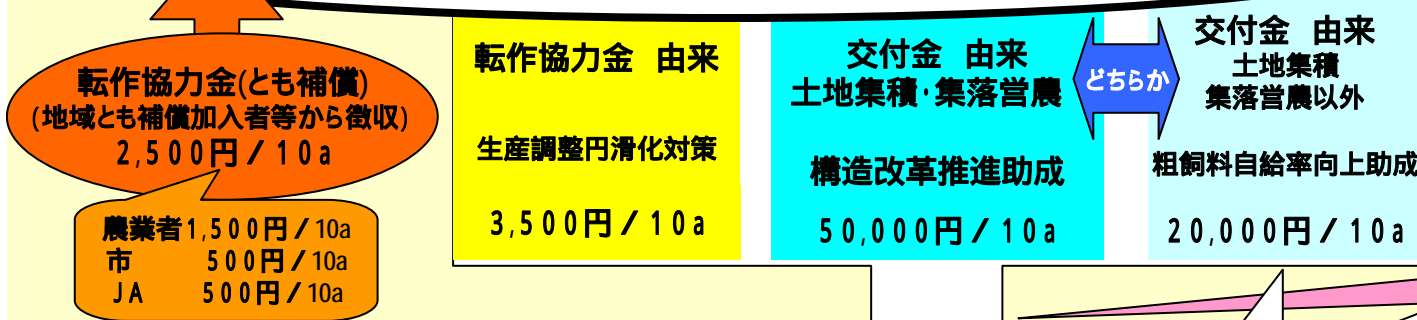
産地づくり交付金等を活用した耕畜連携により自給飼料増産を実践

むつみ地域水田農業推進協議会



耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円 / 10a

中山間地域等直接支払制度
県単独補助 等



耕種農家

小規模農家



土地集積・集落営農を行っていない一般の畜産耕種農家による飼料栽培 (収穫は主に畜産農家が実施) ソルガム・イタリアン等

生産法人等

土地集積・集落営農を行っている農家(営農集団・認定農業者等)

主力となる食用稲生産の転作作物として、飼料用稲・ソルガム等を栽培



稲発酵粗飼料専用稲

堆肥交換

代金のやり取りなし

飼料代金 約30円 / *_□

飼料代金 約32円 / *_□

粗飼料(WCS)の販売

WCS

地域内畜産農家



地域外畜産農家



全農・全酪連

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)
10,000円 / 10a

「山口県萩市むつみ地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

水稲・野菜・畜産(肉用牛)の組み合わせによって複合経営を実施。

基本助成はなく、集落営農、認定農業者等中核的担い手に手厚く配分。

生産者・行政・JAで造成した基金を原資として、転作農家に生産調整円滑化対策金を分配。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|-----------------|-------|----------|---------------|------------------|---|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 萩市 むつみ 地域 | 446戸 | 乳用牛 | 1戸 (60頭) | 都市部 | 地域とも補償事業への拠出 地域水田農業ビジョン実現のため、 生産者・行政・JAで基金を造成し、 生産調整の円滑な推進及び収益作物 等の作付に取り組む農業者を支援する。 | 農事組合法 人こぶし |
| | | 肉用牛 | 34戸 (510頭) | 平地面部 中山間部 | | |

52次山口農林水産統計年報H16～H17より

「むつみ地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金[飼料作物関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | | |
|----|--|---|
| 総計 | 33,000/10a ~ 63,000円/10a | |
| | 耕畜連携推進対策: 13,000円/10a | |
| | 構造改革推進助成 50,000円/10a (集落営農、特定農業 団体、認定農業者) | 粗飼料自給率向上助成 20,000円/10a (左記以外の耕作者) |
| | 基本助成: なし | |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|---------------------|-------|--|
| 地域による転作協力金(とも補償的)から | | 生産調整円滑化対策 3,500円/10a 転作協力金(地域とも補償加入者等から徴収) 2,500円/10a(農業者1,500円/10a、市500円/10a、JA500円/10a)を原資 |
| 中山間地域等直接支払制度 | | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

秋芳町水田農業推進協議会

(山口県 秋芳町)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成
(調査日:平成18年9月22日)

産地づくり交付金を活用した耕畜連携により自給飼料増産、水田放牧を実践

秋芳町水田農業推進協議会 (平成17年度実績)

| 転作協力金由来 | | 交付金由来 |
|--------------|---------------------------------|---------------|
| 5,000円 / 10a | 基本加算 (認定農業者・集落型経営体等) | 10,000円 / 10a |
| 5,600円 / 10a | 担い手加算 (認定農業者・集落型経営体等) | 13,500円 / 10a |
| 6,000円 / 10a | 団地化加算 (認定農業者・集落型経営体等) | |

産地づくり協力金(とも補償)
(水田面積から徴収)
4,000円 / 10a

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円 / 10a

中山間地域等直接支払制度
県単独補助 等

耕種農家

粗飼料の作付・収穫
(収穫は主に畜産農家が実施)
ソルガム・白ヒエ・イタリアン
等による作期分散



飼料作

堆肥交換にするか金銭での支払いに
するか農家間で個別に決定

放牧

和牛繁殖農家から、
雌牛をレンタルし、
水田に放牧することで
水田荒廃の防止



電柵機材等を各種助成金
等を活用して整備

粗飼料

畜産農家

飼料代金
若しくは
堆肥交換



和牛繁殖農家

<牛レンタル料金>
2,000円(2頭1組)

<牛運搬費用>
1,500円(2頭1組)

牛レンタル料金・牛運搬料金

牛の貸出・運搬



「山口県秋芳町水田農業推進協議会」の概要

ポイント

産地づくり対策として平成16年度から水田放牧に取組み(放牧自体は平成13年から)

転作していない水稲作農家も含めた転作協力金を原資として、転作実施農家に配分。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|-----|-------|----------|----------------|-----------------|--------------------------------|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 秋芳町 | 863戸 | 乳用牛 | 1戸 (頭) | 都市部 | 地域による協力金(とも補償)の構築、対象農家間の調整に関与。 | 無 |
| | | 肉用牛 | 20戸 (300頭) | 平地区 中山間部 | | |

52次山口農林水産統計年報H16～H17より

乳用牛飼養頭数の「 」は秘密保護上、統計数値を公表していない。

「秋芳町水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金[飼料作物関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | |
|-------------------------|---------------------------|
| 総計 | 36,500円 / 10a (最大) |
| | 耕畜連携推進対策: 13,000円 / 10a |
| (飼料作物、耕畜連携推進) 担い手加算: | 13,500円 / 10a |
| 基本加算 | 10,000円 / 10a(飼料作物) |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---|
| 地域による協力金(とも補償的)から | | 基本加算: 5,000円 / 10a 団地化加算: 6,000円 / 10a(認定農業者・集落型経営体等) 担い手加算: 5,600円 / 10a(認定農業者・集落型経営体等) 産地づくり協力金(水田面積から徴収) 4,000円 / 10aを原資 |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

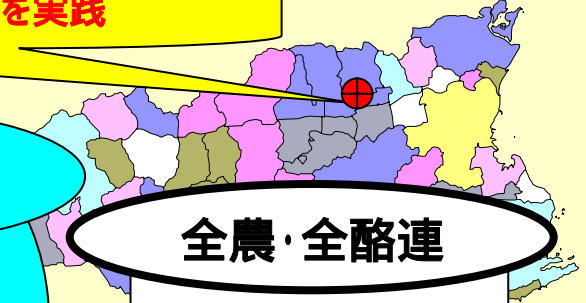
上板町水田農業推進協議会

(徳島県 上板町 板野地域)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成
(調査日:平成18年9月7日)

自給飼料増産型酪農経営に向け、耕畜連携して、稲発酵粗飼料の作付を実践



上板町水田農業推進協議会

転作作物栽培助成
WCS(土地所有者に助成)
15,000円/10a

担い手利用集積助成
(土地集積者:県認定)
20,000円/10a

担い手に対する助成
(認定農業者)
10,000円/戸

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円/10a

全農・全酪連

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)
10,000円/10a

地主(耕種農家)
約15,000円/10a



ファーム
サービス
WCS収穫作業
の請負

収穫請負代金
20,000円/10a

WCS

酪農家



契約
斡旋

JA板野郡(高志支所)

<耕種農家と酪農家との契約>
<ファームサービスの収穫作業の斡旋>

JA板野郡では、同地域における耕種農家と酪農家間の契約事項・飼料作物の栽培・管理方法、全てを総括・調整している。

契約
斡旋

「ファームサービス」は、JAが運営する各種農作業の請負組織。
WCSの栽培管理は、酪農家が責任を持って実施。

「徳島県上板町水田農業推進協議会」の概要

ポイント

水田農家と畜産農家との農作業受委託、利用供給協定の締結を支援し、水田での稲発酵粗飼料、青刈りトウモロコシ等の粗飼料生産を振興。

認定農業者のほかに飼料作物生産組合を担い手組織として位置づけ、土地利用集積を推進。

JAが「ファームサービス」を組織し、専用収穫機でのWCS収穫以外にも各種農作業を受託して、粗飼料生産だけでなく各農家の労働条件を改善。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|-----|-------|----------|-----------------|--------------|---|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 上板町 | 18戸 | 乳用牛 | 14戸 (1,036頭) | 都市部 | JAが「ファームサービス」を組織し、専用収穫機でのWCS収穫以外にも各種農作業を受託して、粗飼料生産だけでなく各農家の労働条件を改善。 | 「ファームサービス」が各種作業を受託 |
| | | 肉用牛 | 4戸 (250頭) | 平地面部 中山間部 | | |

「上板町水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金
[飼料作物関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| 総計 | 畜産農家 | 耕種農家 | |
|----|------------------------------------|---|-------------------------|
| | | 13,000円/10a ~ 43,000円/10a(最大) | 15,000円/10a |
| | | 耕畜連携推進対策 (水田飼料作物生産振興事業) 13,000円/10a | 転作作物栽培助成 15,000円/10a |
| | | 担い手利用集積助成 (土地集積者:県認定) 20,000円/10a | |
| | 担い手に対する助成 (認定農業者) 10,000円/1戸 | | |

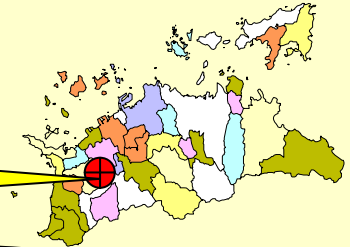
| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | × |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | × |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | × |

耕畜連携の事例

(調査日:平成18年9月6日)

香川県三豊市高瀬町地域水田農業推進協議会 (香川県三豊市高瀬町)

耕畜連携によるWCS作付で自給飼料増産型酪農経営を実践



高瀬町地域水田農業推進協議会

産地づくり交付金

一律助成 4,000円 / 10a
麦・飼料作物加算 40,000円 / 10a

耕畜連携推進対策 (水田飼料作物生産振興事業)

13,000円 / 10a

全農・全酪連

稲発酵粗飼料給与確立 (国産粗飼料増産対策事業)

10,000円 / 10a

地権者個人へ

対象となる「飼料作物」は、イタリアンライグラス、グリーンミレット、ソルガム。WCSは対象となっていない。

酪農家へ



比地二酪農組合

9戸の酪農家、うち4戸で飼料イネ生産

スタックサイロ



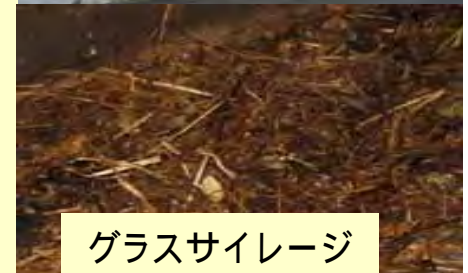
たい肥還元

委託料は製品代と相殺。
WCSは無償で畜産農家が受取って牛に給与

牛舎



グラスサイレージ



飼料イネほ場



「香川県三豊市高瀬町地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

香川県下で唯一、稲発酵粗飼料の給与実証事業
に対して組織的に取組。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家 戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|------------|-----------|----------|---------------|--------------|----------------|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 三豊市 高瀬町 | 1,859戸 | 乳用牛 | 12戸 (289頭) | 都市部 | | |
| | | 肉用牛 | 12戸 (464頭) | 平地部 中山間部 | | |

「三豊市高瀬町水田農業推進協議会」の産地づくり対策
交付金[飼料作物関係]

当該地域で活用されているその他の交付金・助成金

| | | |
|----|---|--|
| 総計 | 57,000円/10a (最大) | |
| | 耕畜連携推進対策: 13,000円/10a | |
| | 麦・飼料作物担い手助成: 40,000円/10a (イタリアンライグラス、グリーンミ レット、ソルガム) | |
| | 水稻を作付けしない助成水田に一律助成: 4,000円/10a(上限) | |

| 種別等 | 該当の 有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-----------|---------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

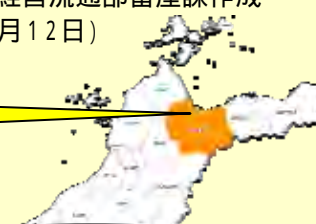
周桑地区水田農業推進協議会

(愛媛県西条市周桑地域)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成

(調査日:平成18年9月12日)



自給飼料増産型畜産経営に向け、耕畜連携によるWCS作付を拡大

周桑地区水田農業推進協議会

産地づくり対策(認定農業者)
45,000円/10a

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円/10a

飼料生産
認定農業者へ

産地づくり対策(飼料作物集団)
60,000円/10a

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円/10a

飼料作物
生産集団へ

全農・全酪連

給与農家へ

稲発酵粗飼料給与確立
(国産粗飼料増産対策事業)
10,000円/10a

三芳・高田地区等の農家(7戸)

合計 58,000円/10a



耕種農家



転作田での飼料イネ

生産経費
57,960円/10a

収穫作業

三芳生産集団(畜産農家4戸)

合計 73,000円/10a



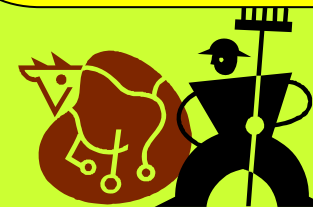
収穫機械(H14県単事業)

耕畜連携

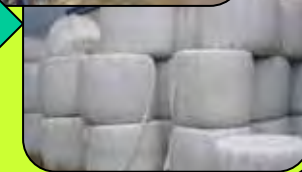
WCS供給

三芳飼料稲生産組合
(酪農家3戸)

合計 10,000円/10a



畜産農家



「愛媛県周桑地区水田農業推進協議会」の概要

ポイント

自給飼料増産型畜産経営に向けた耕畜連携によるWCSの作付。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|-------------|--------|----------|------------------|--------------|---|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 西条市 周桑地区 | 5,101戸 | 乳用牛 | 13戸 (1,050頭) | 都市部 | 水田を活用した飼料作物生産の支援のため産地づくり対策交付金を活用し、米の生産調整の推進と飼料自給率の向上を図っている。 | 三芳生産集団 |
| | | 肉用牛 | 26戸 (1,550頭) | 中山間部 | | |

「周桑地区水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金
[飼料作物関係]

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| | | |
|----|---------------------------|-------------------------|
| 総計 | 58,000円/10a ~ 73,000円/10a | |
| | 耕畜連携推進対策: 13,000円/10a | |
| | 認定農業者 : 45,000円/10a | 飼料作物集団 : 60,000円/10a |

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|---------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

四万十町窪川地域水田農業推進協議会

(高知県高岡郡四万十町窪川地域)

耕畜連携の事例

中国四国農政局生産経営流通部畜産課作成

(調査日:平成18年9月19日)

耕種農家による遊休水田への和牛放牧と飼料作物の作付

四万十町窪川地域水田農業推進協議会

産地づくり対策(飼料作物)
30,000円/10a

担い手育成助成
10,000円/10a

飼料生産者へ

耕畜連携推進対策
(水田飼料作物生産振興事業)
13,000円/10a

活用!

中山間地域等直接支払制度
(飼料作物の作付等)

おきつ和牛組合(耕種農家6戸)

地域肉用牛振興対策事業



耕種農家

放牧される褐毛和種



H17地域肉用牛振興対策事業

合計 53,000円/10a



水田放牧

「高知県四万十町窪川地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

耕種農家による遊休水田への和牛放牧と飼料作物の作付

和牛の繁殖による増頭

地域住民との交流による農業(畜産)への理解醸成
(地元小学生への牧場見学、体験)

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地区別】 該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団 (コントラクター) の有無等 |
|--------------|--------|----------|-----------------|-----------------|--|---------------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 四万十町 窪川地域 | 1,424戸 | 乳用牛 | 16戸 (689頭) | 都市部 | 四万十町窪川地域水田農業推進協議会及び高南家畜保健衛生所は、飼料作物の作付指導や産地づくり推進交付金の活用方法の提案、地域での実施体制づくり等に主体的な役割を果たしている。 | 無 |
| | | 肉用牛 | 18戸 (1,553頭) | 平地部 中山間部 | | |

「四万十町窪川地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金[飼料作物関係]

| | |
|---|---------------------------|
| 総計 | 53,000円 / 10a (最大) |
| 耕畜連携推進対策: | 13,000円 / 10a |
| 環境保全型農業推進助成: 実施農家は畜産農家なので、該当しない。 (畜産農家が自らの農地に堆肥を搬入する場合は×) | |
| 担い手育成加算: | 10,000円 / 10a |
| 水稻を作付けない助成水田に飼料作物の作付: | 30,000円 / 10a |

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|----------------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | | 飼料作物の作付等 |
| 地域肉用牛振興対策事業 | | 簡易牧柵、簡易牛舎施設、放牧経験牛導入等 |

「高知県四万十町窪川地域水田農業推進協議会」の概要

ポイント

生産されたい肥等の資源の有効活用を積極的に地元耕種農家へ提供。良質堆肥の研究。地域資源循環による土づくりを基本とした環境保全型農業を強力に推進。

耕畜連携による牛の水田放牧により、自己保全管理田等の農作業を軽減し、飼料作物の作付けをセットで実施。

協議会の区域の概要

| 地区名 | 総農家戸数 | 地区の牛飼養農家 | | 【地域別】該当に | 耕畜連携への行政・JAの関与 | 生産集団(コントラクター)の有無等 |
|----------|--------|----------|-----------------|-------------|--|-------------------|
| | | 乳・肉 | 戸数(頭数) | | | |
| 四万十町窪川地域 | 1,424戸 | 乳用牛 | 16戸 (689頭) | 都市部 | 四万十町窪川地域水田農業推進協議会は、作物の作付け体系や産地づくり推進交付金の活用方法の提案、地域での実施体制づくり等に主体的な役割を果たしている。 | 営農支援センター四万十(有) |
| | | 肉用牛 | 18戸 (1,553頭) | 平地部 中山間部 | | |

「四万十町窪川地域水田農業推進協議会」の産地づくり対策交付金[飼料作物関係]

| | |
|------------------------|---------------------------|
| 総計 | 73,000円 / 10a (最大) |
| 耕畜連携推進対策: | 13,000円 / 10a |
| 環境保全型農業推進助成: | 10,000円 / 10a |
| 担い手育成加算: | 10,000円 / 10a |
| 生産調整地区達成助成: | 10,000円 / 10a |
| 水稲を作付けしない助成水田に飼料作物の作付: | 30,000円 / 10a |

当該地区で活用されているその他の交付金・助成金

| 種別等 | 該当の有無 | 備考(助成単価、用途など) |
|--------------------|-------|------------------------------|
| 地域による協力金(とも補償的)から | × | |
| 中山間地域総合整備事業(直接支払い) | × | 傾斜とれず、中山間地域等直接支払制度は取り組んでいない。 |
| 地域肉用牛振興対策事業 | × | |

現行の耕畜連携推進対策が変わります

～ 平成19年度からの耕畜連携水田活用対策 ～

中国四国地域の各地域水田協議会では、今回ご紹介させていただいた事例以外にも様々な形態で耕畜連携が取組まれています。

平成18年度までは、平成16年度から行われた米政策を活用した水田における飼料作物生産等の取組が各地で行われてきたところですが、平成19年度から、新たな耕畜連携水田活用対策が始まる予定です。

平成18年12月末の予算確定まで対策の仕組等、未確定な部分もありますが、平成19年度からの耕畜連携水田活用対策の概略をご参考までに以下のとおりお示します。

これまでの稲発酵粗飼料等の飼料作物の生産や水田放牧等の取組に対する面積当たり助成に加え、地域ぐるみで行う飼料生産振興の取組(簡易な基盤整備や稲発酵粗飼料専用収穫機械、放牧牛の導入など)にも経費助成ができる二本立ての制度となる予定です。

面積当たり助成は、助成対象(稲発酵粗飼料、水田放牧、牧草等)や単価を、助成金の範囲内で地域の創意工夫により設定できる予定です。

(ただし、助成単価は13千円/10aが上限となる予定です)

以上の内容は、平成18年10月時点の(案)段階のものです。

平成19年1月には、県庁や市町村を通じて確定した内容についてお知らせいたします。

耕・畜力を合
わせて飼料増
産をしましょう。



各県の問合せ先

| | | |
|-----------|-----------------------|---------------------|
| 鳥取県畜産課 | 〒680-8570鳥取市東町1-220 | TEL:0857-26-7111(代) |
| 島根県農畜産振興課 | 〒690-8501松江市殿町1 | TEL:0852-22-5111(代) |
| 岡山県畜産課 | 〒700-8570岡山市内山下2-4-6 | TEL:086-224-2111(代) |
| 広島県畜産振興室 | 〒730-8511広島市中区基町10-52 | TEL:082-228-2111(代) |
| 山口県畜産振興課 | 〒753-8501山口市滝町1-1 | TEL:083-922-3111(代) |
| 徳島県畜産課 | 〒770-8570徳島市万代町1-1 | TEL:088-621-2500(代) |
| 香川県畜産課 | 〒760-8570高松市番町4-1-10 | TEL:087-831-1111(代) |
| 愛媛県畜産課 | 〒790-8570松山市一番町4-4-2 | TEL:089-941-2111(代) |
| 高知県畜産課 | 〒780-8570高知市丸ノ内1-7-52 | TEL:088-823-1111(代) |



問い合わせ先

中国四国地域耕畜連携推進協議会

事務局：中国四国農政局 生産経営流通部 畜産課

TEL 代表：086 - 224 - 4511 (内線2452・2459)

TEL 夜間直通：086 - 224 - 9412

FAX 086 - 232 - 7225